

独創的な新製品を 次々と開発し続ける

(有)志岐インテリア工業

代表取締役社長 志岐 直樹 さん



大ヒット製品となった
TVボード“MOVE”



扉を閉めたままでも
リモコン操作が可能!



(有)志岐インテリア工業は、品質の高さと時代を先取りするデザイン力を武器にする企業。斬新なデザインの家具を年四回のペースで発表し続けている。住空間デザインコンペでは二〇一一年以来四年連続で大臣賞を受賞している。そして今年には国土交通大臣賞。代表取締役社長の志岐直樹さんにインタビューした。

さて二〇〇八年に実用新案を取得した“MOVE(ムーブ)”は大ヒット製品となった。

非常に独創的な製品で今でも売れ筋となっている。この商品をきっかけに、福岡県から「経営革新計画」の認定を受けている。

では“MOVE”とはどんな製品なのだろうか? 「扉を閉めたままでもリモコン操作が可能なTVボードです。赤外線が透過する天然木突板をガラスの表面に貼り付けることで、これが可能になっています。従来の透明ガラス使用のTVボードにはない高級感があります。また内部の収納が見えないので、来客時などプライバシーを守れるのです。」

他の製品も見せてもらった。

次は“カバーナ”。二〇一一年住空間デザインコンペで、経済産業大臣賞を受賞したヨーロッパ風アンティーク家具である。材料は、フィンランド





長年使い込まれたかのような風合い
アンティークホワイトの
カバーナシリーズ

パイン材。「経年変化した古材感を出すために、表面の柔らかい部分を削り取るパレン加工を施し、表面の凹凸を出しています。カラーはブラウンをベースに、一本一本アンティークホワイトで塗りこみ、金具一つ一つもアンティーク仕上げにしています。最後は素材の風合いを引き出すためラッカー塗装で仕上げられています。」見た目も触り心地も優しい。使い込めば込むほど味わいが出てきそうな素敵な家具だ。女性に人気。

最後に紹介するのが、今年の住空間デザインコンペ国土交通大臣賞受賞の「Mjuk（ミューク）」だ。現在経営革新計画申請中の製品でもある。Mjuk（ミューク）とはスウェーデン語で「優しい・心地よい」という意味。その名の通り柔らかいラインとフォ

一方男性をターゲットにしたのが、二〇一三住空間デザインコンペで林野庁長官賞を獲得した「Dunk（ダンク）」だ。ダークな色合いで古材の質感を演出している。「このシリーズは、アイアンとダメージ加工を施したパイン無垢材を用いてヴィンテージ風に仕上げているのが特徴です。」カジユアルでありながら、どこか重厚感が感じられる個性的な雰囲気を出している。まさに「男の家具」。



古材風に仕上げた男の家具
Dunk シリーズ



角を丸く加工した
やさしいデザインの
Mjuk シリーズ

滑らかな曲線を生むため
独自開発した刃物



他商品

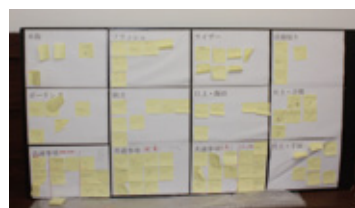


機械では表現できない
柔らかなライン

ルムを持った家具だ。直線的な大量生産家具とは一線を画して、いわば三次元の曲面加工が特徴だ。「独自開発した刃物を装着したNCルーターで無垢の素材に曲線加工を施します。さらに熟練した職人が手作業で研磨をします。高い技術と手間のかかる作業です。模倣するのはかなり難しい製品だと思います。」お年寄りや子供が当たってもけがする心配が少ない。丸みを帯びたフォルムは、心を癒やしてくれそうだ。

さて紙面の都合上製品の紹介はこれくらいにしておこう。次に紹介するのは会社の生産システム。家具はどのようにできあがるのだろうか。基本的にデザインは全て志岐さんが行う。しかし、細かいフォルムや工夫については、デザインミレーティングで決めていく。従業員全員参加する。「デザインが採用された従業員にはロイヤルティ（Royalty）を支払うようにしています。これにより従業員たちのモチベーションが高まります。能動的に経営に、生産に参画出来るのです。」次から次へと新製品を生み出していき、会社のバイタリテイの秘密が分かったような気がする。

トヨタばりの「改善」も特長だ。「毎月各従業員に作業の改善点を出してもらいます。それらをボードに貼りだし、共有する部分を抽出するようにします。それを最優先課題として、実際に改善していくのです。そして改善前と改善後の写真とコメントを工場内に貼り出すようにしています。従業員にその成果を明瞭にするためです。」これらの手法をさらに精錬させるために、トヨタや日産から講師を招いて勉強会を開いているという。これには驚かされる。「私たちがのような小さな会社が生き残り、成長して行くには、商品のクオリティだけでなく、生産効率の向上も不可欠と考えています。」さて、志岐さんの夢は何だろうか。「ミラノサローネ国際家具見本市に出展できるレベルに製品を昇華させていくことです。その展示会で他社と互角に競い合いたいですね。そのためにも創意工夫をし、新製品を開発し続ける必要があると考えています。」



▲改善点を貼りだしたボード



◀改善前と後の比較写真